

2021年度 支部大会

5月15日(土) 13:00~17:00

いけみ あきら

池見 陽先生をお迎えしての オンラインセミナー

テーマ： 感じられた意味と言葉の創造性

日本語には「胸騒ぎがする」といった表現がありますが、「こころ」あるいは「身」にはアタマで考えられる以上の直感的な「知」が宿っています。科学が進むにつれて、具体的に体験される「知」は影に置かれ、身体生理学や薬理学などの「説明概念」ばかりが脚光を浴びるようになってきました。ストレスの「メカニズム」が科学的に説明されたとしても、人は「メカ」ではない、といった根本的な矛盾があります。同様に、「胸騒ぎ」が感じられる胸のレントゲンをとっても、「騒いでいる実体」は何も映らないのです。説明概念ではなく、直接的に感じられるもの、それを丁寧に言葉にしていく過程、そういった人間らしい知が具体的に体験できる午後にしたい思います。

プロフィール:

関西大学 大学院心理学研究科 教授

Boston College 卒業、心理学専攻・哲学副専攻。University of Chicago大学院修士課程修了、ユージン・ジェンドリン教授に学ぶ。産業医科大学にて医学博士。北九州市立小倉病院、産業医科大学、岡山大学、神戸女学院大学などを経て関西大学へ。

英語・日本語のバイリンガル。フォーカシングという心理療法の国際的な指導者。日本語では講談社現代新書『心のメッセージを聴く』ほか、小説『バンヤンの木の下で』を含め多くの書籍に執筆している。英語では、アメリカ心理学会ハンドブックや専門書・専門誌に多く執筆しており、アメリカ・カウンセリング協会より2019年に「リビング・ルミナリー」(現在、存命である輝ける大家)に指名され、また日本では日本人間性心理学会より2020年に学会賞を受賞している。

非常勤講師として九州大学、静岡大学、兵庫教育大学、奈良女子大学、ストラスカライド大学(スコットランド)などで教鞭をとっていた。その他、University of East Anglia (イギリス)とUniversity of Sydney(オーストラリア)で博士論文審査官を務めている。コロナ禍以前はオーストラリア、スイス、ベルギー、ギリシャ、中国、香港、アメリカ合衆国など世界各地で独自の理論と技法を伝えてきたが、コロナ禍以降はオンラインで国際的に活動している。

スケジュール:

13:00~2020年度事業報告・'21年度事業計画

13:30~池見先生の講義とワーク

17:00~第45回全国大会in広島の案内他

申し込み方法:

関西支部事務局Email: info@takan31.com

までメールにて、次の項目をお知らせください。

- ① お名前(会員番号) ② 支部名 ③ 交流分析の資格
- ④ ZOOMの招待メールを受取るメールアドレス
- ⑤ 当日連絡可能な電話番号

締め切り: 2021年5月10日(月)

参加費: 4,500円 (4月1日以降に振り込みをお願いします)

振込先: ゆうちょ銀行 00980-5-46999

他銀行から 099店 当座0046999

会員番号 お名前 515(開催日)を記入してください。

*原則として入金後の返金はありません。オンラインでの接続に支障があった場合は考慮します。

NPO法人日本交流分析協会 関西支部事務局

〒531-0072大阪市北区豊崎1丁目7-21リバティ91 305

<http://takan31.com/> ☎&FAX: 06-6375-1002

Email: info@takan31.com